

ぼく 木 たく 鐸

編集・発行
はな. 居宅介
護支援事業所

苦手なる物（食べ物）、人物を好むようになると、自分の価値観、大袈裟に言えば、人生観も変わるものである。もちろん、なんらかのきっかけは必用であるが、無理にしようと思わないことである。前提条件は、最初に自分の変化に気づく事が大切である。自分が変わろうとしないのに変わる訳がない。良く世間でいわれる「はじめは、うっとうしい奴と思っていたが、段々と良く思えてきた」と。

反対に、一目惚れは良いがものの1年も継続出来なき若者の男女がいるが、この時を冷静に受け止め将来の孤島を、考え、お互いに支え合える関係を構築すれば、長続きしたかも知れない。一目惚れが、永遠に続くと思ったからであると思う。危機管理が出来なかった結果である。でも、勉強と思えば今後が楽しみである。

私的だが、以前は
こんにやくは好
最近は好ん
もちろん
入れなく
る。若いこ
だんだんと食べ
食べ物を探そうと努力するか、

嫌いな物（食べ物）、 人物を好きになると 別世界が見えてくる！

ごぼう、レンコン、
まなかったが、
で食べるように
歳を重ねるにつれ身体が受け
なった。嗜好が変化してく
ろは肉類を好んでいたものが、
られなくなる。その時、自分に合う
しないかである。この分岐点をを自分

の物にするかしないかでは、今後の未来が大きく変るような気がする。今まで味わえなかった、ごぼう、レンコンの美味しさが分かり味覚の世界が広がる。もちろん、肉類にこだわり食べ続けるのも良い。食べられる人であればの話だが。でもそうでない人は、この分岐点（チャンス）をいかに自分のものにするかである。世間では、ピンチはチャンスと云ううが、ピンチと思った時に何を考え、何をするかにより、ピンチのまま終わるか、異なった世界（チャンス）が現れるか。ピンチの時に必ずチャンスがあるかとは考えない方が賢明です。いかに考え、行動するかにより、チャンスが現れてくるのであると最近、感じるようようになったこの頃である。

くだらない事聞きますが、80円持っていて、駄菓子20円分買いました。おつりはいくらですか？

くだらないこと聞きなさんな、馬鹿にするのもほどほどに「60円」だよ！。本当に！

せめて、おつりは無し。あるいは30円と言って欲しかったです。

声高々に自信もって60円の答えが返って来るとは・・・、せめて、申し訳なさそうに小声で60円と言って欲しかったです。まだ。可愛げがあるのですが？、あなたは、一生、ピンチの人生です。でも、ピンチが到来しても分からないから、それもありですね。

なんの事、言っているの？ はあ・・・

近藤誠氏が「患者よがんとうな」を以前、呼んだ記憶が、それなりに、なるほどと思ったものである。それから十年たつて、小野寺さんの「がんとうな生き方」が出た。十五年前に出された書物を今読んでいる。きつと、現在の最前線の書物はすごいだろうと思う。著者は半年後に手術するようだが、手術は失敗である。命を短くしているだけと述べている。十五年前の話である。今、医学の進歩は目覚ましいと聞いている、半年後手術して完治するものもあるかも知れない。喜ばしい事である。小野寺氏が云ううには、がん細胞は生まれた時点で遺伝子レベルで組み込まれ、免疫の効力でほとんどが破壊されるが、生き延びたものががん細胞」として残る、超エリート細胞であると。医師は「完全に取り去りました」と言うが見えてないがん細胞が既に存在すると。無意味な手術は刺激により、見えていないがん細胞を増幅していると。あと半年ですといわれたら、どうしますか？7割の人はそつとしておきます。現実には7割の人が治療を受けているとのこと。医師の「最善をつきます」という殺し文句を信じて。15年前の話である（独りよがりの文章でした）



がんとうな生き方

小野寺時雄